

福祉サービス第三者評価結果

①第三者評価機関名

株式会社 地域計画連合

②事業者情報

名称：越谷市立七左保育所	種別：保育所
代表者氏名：山口 尚美	定員(利用人数)：87 (79) 名
所在地：〒 343-0851 埼玉県越谷市七左町1-184	Tel 048-988-7359

③評価実施期間

平成30年 7月 4日(契約日)～平成31年 1月18日(評価結果確定日)

④総評

◇特に評価の高い点

○職員間のチームワークを大切にされた保育活動の実践が行われている

職員のアイデアや工夫などを活かして、砂場の柵の改修や各クラスの保育活動などの様子を伝える「しちざしんぶん」の作成、廊下に掲示されている手書きの散歩マップなど、職員が自ら取り組むことで子どもたちの楽しい保育活動を推進し、保護者へも的確に子どもたちの様子などを伝えることにつながっている。また、調理員は人気アニメのキャラクターを用い、その日の献立を見える化することで子どもたちの関心を引き出し、食に対する興味を高めている。それぞれの役割・分担などに応じて協力し合い、子どもたちのことを第一に考え、保護者に向けて活動の様子などを分かりやすく伝えることで理解と協力の向上に努めている。

○子どもたちの安心・安全を確保するため、職員と保護者が協力して対応し、危険の抑制に向けた対応を進めている

防犯カメラが設置され、不審者への対応が図られてはいるが、保育所建物自体のセキュリティが手薄であるとの認識のもと、職員間で不測の事態に備え合い言葉を決めるなどの対応を行っている。また、避難訓練の中に不審者対応訓練を盛り込んだり、保護者に水消火器の体験に参加してもらうなど、子どもたちの安心・安全の確保に向けて職員と保護者が協力し合い対応できるように努めている。さらに、職員間でのヒヤリハットの共有・意識づけにつながる図上での記録に取り組むことで、具体的な場所を意識した安全への配慮・気配り、職員それぞれの対応などへの展開を進めている。

○自然の環境を活かした食育活動や生き物の飼育活動を大事にしている

園庭になっている柿の実を収穫して、調理員が中心になり干し柿をつくってテラスに吊るしたり、子どもたちの食に関する興味を育てている。畑では子どもたちがミニトマトやナス、オクラ、サツマイモ、キュウリなどを栽培して収穫し、調理してもらったり、クラスでホットプレートで焼いて食べるなどの経験をする機会もある。また、園庭にあるミカンの木にアゲハチョウのさなぎを見つけ、写真を撮るなどして観察をしたり、カブトムシの飼育をするなど、生き物の成長を見たり育てる機会を大事にしている。

◇特にコメントを要する点

○子どもが自分の意志で遊びを選べる保育環境の工夫を期待したい

保育室の一角にはおもちゃなどが置かれたスペースが確保され、保育活動の合間に遊ぶ機会があり、ままごと遊びができるおもちゃが用意されている。また、必要に応じて保育者が押し入れからおもちゃを出している。子どもが継続して遊ぶことができる時間や空間の使い方の検討、年齢を踏まえた教材やおもちゃなどの数、種類の工夫や検討など、子どもたちが自分のやりたい遊びができるための保育室環境の検討を期待したい。

○保育活動の様子や目標をさらに丁寧に伝え、保育者の想いなどを保護者と共有する工夫や配慮を検討されたい

保育理念や方針などは保護者に説明し、クラス毎の目標なども保護者会資料やクラス室内に掲示して伝えている。また、日々の保育活動の様子は連絡帳やクラスに設置されているホワイトボードで適宜伝えている。利用者調査からは保育目標などをあまり知らないという回答もあり、保育所の保育への考えや保育者としての取り組みを保護者へさらに丁寧に伝えることの工夫が望まれる。また、保育士が子どもたちへの保育活動をどのように見立てたかや保育者として大切にしている視点、保育援助への関わり方、保育活動の内容を的確に伝えるさらなる取り組みも望まれる。保護者からも日常の保育活動の様子などを分かりやすく伝えて欲しいという要望も見られる。そのため、子ども一人ひとりの指導計画の内容を丁寧に保護者に伝え、子どもたちの具体的なエピソードとともにそれぞれの場面で職員がどのような思いで、どのように関わったかなどを知ってもらう工夫や配慮を検討し、保育に関する思いなどを保護者と共有できる情報などの共有も望まれる。

○人材育成などに関する体系が整備されており、個別の研修や育成計画の策定などを工夫し、職員のやる気と働きがいの向上に活かされたい

人材育成に関する市の基本方針を定め、「職員研修事業概要」も整理されており、各職員は保育活動の質向上、保育者としての資質を高めるさらなる取り組みを進めている。職種別や階層別の研修に参加して専門の研究活動などを行い、成果などを保育活動につなげている。また、業績評価・能力評価・多面評価・人事異動への対応などが盛り込まれた人事評価マニュアルも整っており、年度毎の人事考課に活かされている。既存の自己評価表などの活用を工夫することで、職員の将来的な展望、希望や要望などを整理し、これまで学んできた内容や経験、経歴なども考慮して個別の研修や育成計画として取りまとめ、人材の育成・職員相互の高め合いにつなげることで、職員のやる気・働きがいのさらなる向上に活かす取り組みにも期待したい。

⑤第三者評価結果に対する事業者のコメント

第三者評価を受けるにあたり、職員の共通意識を再確認する意味で、マニュアルの読み合わせを繰り返し行い、全職員が同じ方向をむいて保育できるようにしました。訪問調査当日に利用者調査での意見等や評価員の方からのお話を伺い、保護者が保育所に対して何を望んでいるかという事に気づくことができました。第三者評価を受け、全職員で保育目標や保育のねらい等、わかりやすくするにはどうしたら良いか等を話し合い、改善できる所は改善しました。今後も、日々の保育の積み重ねが大事であることや保護者にわかりやすく伝えるにはどう工夫したら良いかを考えながら取り組んでいきたいと思えます。子どもたちにとって楽しい保育所、保護者にとって安心して預けられる保育所となるよう、職員一同努力していきたいと思えます。

⑥各評価項目にかかる第三者評価結果

別紙「評価細目の第三者評価結果」のとおり